

札幌市立大学における新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、本学では感染拡大状況に応じて、適宜対応してきました。

2021年度においては、4月の入学式を対面形式で実施したものの、感染拡大、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言の発出を受け、学生及びご家庭の安全確保のため、前期開始時から、授業は、オンラインを中心としつつ、対面でなければ教育効果が維持できないものは、感染対策を講じながら限定的に対面で実施するという方針で行ってきました。オンライン授業実施にあたっては、2020年度から主にMicrosoft社の『Teams』を使用し、教員からの一方的な配信授業ではなく、双方向性を保ちながら対面と同等、もしくはそれ以上の教育効果の維持を念頭におき、各科目担当者がそれぞれ工夫しながら実施してきました。

後期は、学内でのワクチン集団接種の実施等により学生の接種率が向上したことから、学生同士、学生と教員間の直接的なコミュニケーションを取る機会を確保するため、前期よりも対面授業を拡大して実施し、2022年度は対面授業を中心に授業が進められることとなっております。

今後については、単に対面授業へ戻すだけではなく、この2年間で培ったオンライン授業に関する知見をもとに、対面・オンラインを組み合わせて効果的な教育を実施していくこととなります。

一方、課外活動においては、長らく学内の施設利用を制限し、学生は主にオンラインでの活動となっておりますが、後期に入り、感染対策の徹底を条件に、利用施設・人数に制限を設けながら、学内での活動が再開され、一部の団体は、定期的に対面での活動を再開しております。また、このような状況においても、新たな団体を設立するという積極的な動きもありました。

今後も感染拡大状況を注視しつつ、学生が安心して学習を継続し、様々な活動に取り組める環境を整備していかなければならない状況ではありますが、本学では、引き続き効果的な教育の推進、課外活動等の支援に取り組んでいきます。

後援会から

後援会長ご挨拶

2021年度もメディア関係はコロナ一色に染まり、感染拡大の大きな波によって学生生活もさることながら、各ご家庭、職場においても大きな影響を受けた大変な一年だったと思っておりますが、皆様方の本後援会に対するご理解とご協力を賜り、緊急対策を含め、様々な学生支援を行うことが出来ました。また、役員の皆様方におかれましても書面会議等の不自由な議事進行にもご協力を頂き、学生支援の在り方、支援方法にも変化を加え、より充実した後援会となるよう議論を重ねて参りました。次年度は新たな会長のもと常に進化を続ける後援会であることを切に願っております。

2021年度 札幌市立大学後援会 会長 石井 敏三

後援会役員(2021年度)

- 会長 石井 敏三
- 理事 若本 彩子
- 理事 嶋田 直美
- 副会長 川嶋 嘉史
- 理事 男澤 誠一
- 理事 三浦 祐大
- 理事 三浦 邦彦
- 理事 上原 佳子
- 監事 高野 祐子
- 理事 木下 健二
- 理事 小池 和夫
- 監事 平井 賢二

編集後記

デザイン学部13期生・助産学専攻科12期生の保護者の皆様におかれましては、ご子息・ご子女のご卒業・ご修了、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様には、日ごろ在学生へのご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

卒業生・修了生の皆様におかれましては、今後、同窓生として在学生に対する進路支援等様々な場面でご協力をいただくなど、今後も引き続き大学との接点を持ち続けていただきたいと思います。



SSA
NEWS

2021

札幌市立大学
後援会
[会報]

学長挨拶

札幌市立大学
理事長・学長

中島秀之

Hideyuki Nakashima

札幌市立大学(SCU)は設立16年目を迎えました。私も就任以来4年が経過しました。「札幌市の大学」ではなく、「日本の大学」を目指し、大学を飛躍させようとしています。

2022年度よりAITセンターが発足します。これは、AIを札幌の行政の効率化に活用することを目的として時限で設置されていたAIラボが、大学の恒久的組織として出発するものです。ラボの活動が設置者(札幌市)に認められて、大学教員の定員と予算が増えることになったのです。本学は開学以来デザインと看護の融合(D×N)をモットーとしてきましたが、デザイン(D)と看護(N)を支えるAIを三本柱として、今後はDNAをモットーに進めていきたいと考えています。

SCUは外部との連携も進めています。AIR DOのステッカーや千歳鶴のラベルのデザインなども行いました。円山動物園とは開学以来の様々な連携があり、動物舎のデザインなども手掛けています。旭山動物園を有名にした当時の園長小菅氏が、現在円山動物園の参与として在籍されているので、何度か話し合いを行いました。今年初めに行った彼と私との対談は道新の全面広告として3月19日に掲載されました。

はこだて未来大学との連携も進んでいます。これまで札幌と函館という距離が障害になっていたのですが、幸か不幸か感染症の影響で講義のオンライン化が進み、両校の共同講義の開催

も現実味を帯びてきました。また月1回、感染症対策の情報交換をオンラインで続けています。

教育に関しては、専門教育の他にリベラルアーツの強化を考えています。リベラルアーツはギリシャ・ローマ時代の市民の素養として設定された七教科です。この現代版として、AIとの付き合い方を含む、学び方の学び(メタ学習)を強化したいのです。特に、今後の社会ではITとAIの素養が重要になってきます。これらに強いはこだて未来大学との連携を活かしながら、SCUのリベラルアーツを策定して行きます。最近、はこだて未来大学出版会から『計算論的思考って何?』を出版しました。リベラルアーツの一つとしての計算論的思考について苦労して記述しました。高校生や大学生の他、初中等教育の先生方にも読んで欲しいと思っています。

今後の感染症の推移は予断を許さないところではありますが、付き合い方も徐々に分かってきました。特にオンラインの講義は使い次第で効果的な教育手段であることが見えてきたので、今後も活かしていきたいと思えます。

先行きの不透明な情勢ですが、「日本のSCU」を目指して頑張りますので、後援会の皆様の今後とも変わらぬご支援をお願いします。

クラブ活動(部・サークル・同好会) 一覧(2022年3月現在)

部活動

- バスケットボール部 ● 軽音楽部「halo」 ● 美術部「noumenon(ノメノン)」 ● YOSAKOIソーラン部「～真花(まなか)～」
- グラフィックデザイン部「chips(チップス)」 ● 服飾制作部「Alice(アリス)」 ● 写真映像部「SEED(シード)」
- 演劇部「デンコラ」 ● 茶道部「Cha部」 ● バレーボール部

サークル活動

- 絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」 ● 創作活動サークル「創一KIZー」 ● ダンスサークル「VOLUME」
- カレー研究サークル「SCUカレー研究会」 ● アウトドアサークル「PEAK」 ● アルティメットサークル「Fly☆Fly」
- バドミントンサークル ● 吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」

同好会

- 地域交流ボランティア同好会「act(アクト)」 ● アナログゲーム同好会「OFF」 ● ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」
- 日本語デザイン研究会「しろ」 ● 合唱同好会「Forte」 ● 球技同好会「Mt.」 ● 手芸同好会「もふもふ」
- 団地同好会「団地さーくる」 ● 当事者研究同好会「のっきんおん〜レッツ当事者研究!〜」 ● ボードゲーム同好会「H.O.M.E」
- 陶芸同好会「ころんと」 ● 英語同好会「HOME」 ● 映画同好会「土曜の夜倶楽部」 ● D×N同好会「Co-Large」
- ヨガ同好会「癒しの会」

● 課外活動への取り組み

2年以上にわたり世界中に広がりを見せているCOVID-19。札幌市立大学の学生が行う課外活動にも大きな影響を与えました。学生の健康・安全・安心を確保するため、感染対策の一環としてキャンパス内の施設が使用できない中、大学祭、南区芸術の森地区雪あかりの祭典、各クラブ活動等、主体的に活動を行ってきた学生団体は、オンラインを活用し、創意工夫を凝らして取り組みを続けてきました。2021年度後期からは社会情勢に合わせて一部の施設が利用できるようになり、対面での課外活動も再開されています。また、この2年間でたくさんの同好会が設立され、2022年度はテニス同好会も誕生予定です。そんなコロナ禍でも数多くの課外活動に積極的に取り組んできた学生にインタビューしましたので、ぜひお読みください。

デザイン学部

林 港人さん
デザイン学部・1年



所属クラブ、参加プロジェクト等

- ① 学生宣伝部 ② 大学祭実行委員会(ARTOU)
- ③ D×N同好会「Co-Large」 ④ 映画同好会「土曜の夜倶楽部」
- ⑤ ボードゲーム同好会「H.O.M.E」 ⑥ 美術部「noumenon(ノメノン)」
- ⑦ 吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
- ⑧ カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
- ⑨ 「きほんのき」(細谷先生、小宮先生)
- ⑩ 日仏デザイン学校の英語による情報交換会(安齋先生、並木先生)



大学祭実行委員会(ARTOU)



切り絵



D×N同好会



映画同好会



学生宣伝部



きほんのき

🔍 どんな学生生活を送っていますか?

今年度は授業がほとんどオンラインだったため自由な時間を取りやすく、課外活動やコンペなどに取り組みました。家にいる時間が長い分、趣味にも時間を割くことができている。活発に外に出ることはできませんが、サークルなどで交流の機会を得たり、オンラインならではの交友関係ができたりして、充実した学生生活を送っています。

🔍 積極的に取り組んだことやがんばった活動は?

サークル・クラブ活動では、特に学生宣伝部とD×N同好会で積極的に活動しました。学生宣伝部では自分の興味のあるグラフィック系分野を学ぶ・実践する場として、大学情報誌や北海道新聞に掲載する広告を作ったり、SNSを運営したりしました。D×N同好会は、医療現場にアートを取り入れる「ホスピタルアート」に興味を持ち、看護学部の学生と一緒に活動したいというきっかけからもう1人のデザイン学部の学生と一緒に設立しました。コロナ禍で病院に入ることができないため実際のホスピタルアート活動はできませんでしたが、他の大学や団体の話を聞いて学んだり、デザイン・看護両学部交流のワークショップを企画したりしました。サークル以外の課外活動では、細谷先生と小宮先生が管轄する「きほんのき」に所属し、市内の児童施設での遊び場企画や夕張市でのワークショップに参加したり、グラフィックやプロダクトのコンペに取り組んだりしました。また、高校まで趣味として続けてきた「切り絵」をいろいろなところに活かしたいと思い、家にいる時間を利用して作品作りに取り組みました。切り絵の新たな展開を模索するなかで、切り絵を使ってストップモーション映像を作ったり、「きほんのき」の児童施設での遊び場企画で切り絵の紙芝居を制作したりしました。

🔍 活動の成果について

学生宣伝部で色々な制作をするなかで、デザインの基本ツールであるIllustratorやPhotoshopの操作、取材・記事作成や印刷・出版の知識などを実践のなかで学ぶことができ、自分の分野に関わる貴重な経験になっています。D×N同好会では、自分で一から始めることの大変さを知りました。看護という自分の専門ではない分野と関わることで、見聞が広がり、デザインをより大きい視野で捉えることができるようになったと思います。

🔍 これからの抱負や、将来の夢は?

来年度は今よりも課外活動の制限が緩和されると思うので、D×N同好会でホスピタルアートの活動を本格的に進めていきたいです。将来のことは具体的には定まっていますが、グラフィック、広告、映像など広くキャリアを積みたいと考えています。そのために現在取り組んでいる学生宣伝部などでの経験は絶対に役立つと思うので、これからも積極的に取り組んでいきたいです。

🔍 新入生に伝えたいことがあればどうぞ!

自分自身は慎重な性格なので、同好会を作ったときなどはとても考えて迷いましたが、自分で何か始めて失敗できるのは学生のうちだけだ、と思い、いろいろなことに手を出しました。大学生生活は今までと大きく変わって不安なことも多いと思いますが、失敗を気にせずにいろいろなことに意欲を持ってみると良いと思います。思わぬところで自分の専門分野と繋がったり、経験値を高める機会ができます。失敗しても自分のキャリアに影響しないのが学生の良いところです!(笑)ぜひ、意欲的にいろいろなことに挑戦してみてください!



デザイン学部



看護学部



人間情報デザインコース

村田 佳乃さん

室蘭工業大学(北海道国立大学法人等職員)

就職活動を通して、大学生活中のボランティアやアルバイトなどの経験が私の成長に繋がっていたのだと実感することができました。大学での学びから、人のために地域の仕事に携わりたいと考え、大学職員として未来を担う方々を支えていきたいと考えています。この4年間、支えていただいた先生方には感謝しています。卒業後は、大学に関わる方々が安心して活動できるよう職員として精一杯支えていきたいです。何事にも明るく思いやりを持って取り組みます。



人間情報デザインコース

平尾 実唯さん

(株)ニトリパブリック

わたしは楽観的になんでもやってみることで、入学前には想像してなかったほど様々な人と出会い、新鮮で貴重な体験をすることができました。好奇心が裏目に出て、失敗してしまうことも多々ありましたが、苦い思い出も含めて良い経験になったと言い切れます。なので、「今〇〇がやりたい!」というような気持ちに従順になることは楽しい学生生活を送れるひとつの手段だと思うので、楽しめるような手段を自分なりに見つけて頑張ってください!応援しています。



人間情報デザインコース

本城 甲斐さん

(有)3KG

ご縁があり、春から、夢だったグラフィックデザイナーとして働けることになりました。就活も含め、本当に人に恵まれた大学生活だったと思います。元来インドアで内向的な性格なので、興味の範囲が狭かったのですが、大学の友人やデザイナーの方々との出会いをきっかけに、今まで思いもしなかった分野に興味を持つようになりました。今後は興味の範囲が広がった分、新しいことにもどんどん挑戦し、そこで得た知識や感性をグラフィックに活かせればと思います。



人間情報デザインコース

柩 明日花さん

(株)大広WEDO

小学生の頃から続けていた演劇に力を入れていました。大学の演劇部「デンコラ」に所属し、部長として部をまとめながら作品を制作し、全国大会にまで行けたのが良い思い出です。札幌市立大学のデザイン学部は、他人の好きなものや大切なものを否定しない素敵な人たちがばかりで、とても居心地がよかったです。自分の好きなものをどんどん外に発信していけば、自然と人が集まり、いろんな人と関わりが「自分らしさ」みたいなものを見つけれられる大学だと思います。



大野 陽菜さん

市立札幌病院

あっという間の大学生活でした。新型コロナウイルスの影響で大学へ行けない日も多い中での講義や実習、卒業研究、国家試験勉強は不安もありましたが、友人と支え合い、先生方やキャリア支援室、事務室の方々のサポートもあり、無事に乗り越えることができました。春から新しい環境となり不安もありますが、大学での学びを活かして頑張りたいと思います。ありがとうございました。



小山内 鈴乃さん

手稲溪仁会病院

幼い頃からの夢だった看護師になるために札幌市立大学に入学しました。大学での4年間では、看護のことだけでなく様々なことを学びました。実習では、臨床に必要な技術や知識を学び、看護の楽しさを感じることができました。新型コロナウイルスの影響で思うような大学生活を送れなかった部分もありますが、周囲の人に支えられて、実習や就活、国家試験をのりこえられました。遊ぶ時は遊ぶ!というように切り替えながら4年間を楽しむことができました。



鈴木 晴香さん

JCHO北海道病院

コロナ禍で思うようにいかないことも多くありましたが、4年間の学生生活を満足して終えることができました。私にとって大学生活は自分自身と向き合い見つめ直す時間となりました。「言われたことをやる」という受動的な学び方から、「自ら考え学びを得る」学び方へ変化させることができたのは、友人との対話や先生方からの問いかけがあったからこそだと思います。就職後も自ら学ぶ力を活かし、自己研鑽ができる看護師として励んでいきたいです。ありがとうございました。



下水流 裕斗さん

北里大学病院

大学に入学してからの4年間はとてもしっかりとした大学生活でしたが、新型コロナウイルスの流行によってサークル活動ができなくなり、授業もほぼすべてオンラインになってしまったことがとても残念です。しかし、在宅時間が増えた中で、国家試験の勉強を行い、資格をとることができたのはとても良い時間の使い方であったと思います。4月からは看護師として就職しますが、自分の目指す姿になれるように頑張りたいと思います。



人間空間デザインコース

須田 そらのさん

(株)メンバーズ

タイポグラフィ作品を自主制作してSNSに投稿したり、グッズ化して販売していました。WEBデザイナーへの道に進むことを選んだのは、この先より発展していくデジタルの世界でのスキルを磨くことで、自分の将来の可能性も広がるかもしれないと考えたためです。札幌市立大学にはいろんな個性を持った人たちが沢山います。良い部分を吸収することで、より有意義で楽しい学生生活を送れると思います。大学生活の中で吸収したことが、将来きっと役に立つと思います。



人間空間デザインコース

相馬 功希さん

札幌市立大学大学院(デザイン研究科)

コロナ禍の大学生活は、想像していたものとは異なりましたが、ゼミの教授や学生課の方々など、様々な人に大変お世話になり、無事に卒業の日を迎えることができました。現在所属しているゼミの教授のもとで2年間研究を続けたいと思い、本学大学院への進学を決めました。この2年間、大学へ登校した回数は少なかったですが、建築設計事務所のインターンシップ・アルバイトなどに参加し、学外のコンペティションに挑戦するなど、充実した時間を過ごせたと感じます。



人間空間デザインコース

富川 留奈さん

(株)トップ・クリエーション

入学したての頃は、自分のやりたいことがわからず、モチベーションを失いかけることもありましたが、大学で学んだことのおかげで趣味やアルバイトなど好きなことも充実していたと気づき、自分を見つめ直すきっかけになりました。大学では建築について学びましたが、放送やCGという分野の職業に就くことができました。これからはいろいろな人と協力して仕事をしたい環境のなかで、社会人として一人前になれるよう頑張りたいと思います。



人間空間デザインコース

村本 紗弥さん

(株)三五工務店

ダンスサークル「volume」に在籍しサークル代表を務めるなど、積極的に活動してきました。学生時代の中では、卒業研究で土壁を作ったことが一番「大学生」をしていて楽しかったです。家や暮らしのことが好きなので、今後はその方向でずっと関わっていきたくと思っています。キャリアウーマンになりたいです(笑)。好きなことをやりたい時に集中してできることがデザイン学生だと思っているので、ゆっくりと大学生活を楽しんで欲しいと思います。



金子 遥香さん

慶応義塾大学病院

4年を振り返ると、大変な事も多くありましたが、それ以上に多くの学びがあり、交友関係も広がって、充実した大学生活でした。3年生から、授業や就職活動などがWebに切り替わり、友人と会えない日々で不安を抱いていましたが、連絡を取り合うことで、何事も乗り越えることができ、友人と支え合う事の重要性を実感しました。これから、環境は変わりますが、大学で出会えた友人と今まで以上に支え合いながら、精進していきます。4年間で関わってくださった皆さん、ありがとうございました。



山内 涼楽さん

帯広市

4年間、実習や演習、課題など大変なこともありましたが、あっという間で充実した日々でした。先生方や事務室の方、友人、家族など、多くの人に支えられ、以前からの目標だった保健師の道に進むことができました。本当に恵まれた環境だったと感じています。春からは、新しい場所で周囲の人への感謝を忘れず、目標とする保健師になれるよう、努力していきます。



飯澤 柚月さん

札幌徳洲会病院

4年間あっという間でしたが、講義や実習、自治会などを通してとても成長したと感じています。中には辛いこともたくさんありましたが、先生や友人に支えられ乗り越えることができました。振り返ると、とても恵まれた環境だったと実感しており、この大学に入学して本当に良かったと思います。これから人との繋がりを大切にしながらこれまでの経験を活かし、理想とする看護師像に近づけるよう頑張ります!ありがとうございました!



上野 侑花さん

札幌厚生病院

私の4年間の大学生活は、本当に貴重なものでした。実習や課題、テストなど日々忙しい生活を送りながらも、友人と励まし合ったりアルバイトを始めたりととても充実した毎日を過ごすことができたと思っています。自分だけでは乗り越えられなかったことも、友人・先輩の支えや先生方からの指導を受けて、成長することができました。学んだことを活かしつつ、看護師になってからも努力し続けていきたいです。ありがとうございました。

デザイン学部

デザイン学部・デザイン研究科
卒業修了研究展2022 開催

芸術の森キャンパスでは、2022年2月14日(月)～2月24日(木)に今回で13回目となる卒業修了研究展を開催しました。初日には、札幌芸術の森美術館からご来賓をお招きし、オープニングセレモニーを行いました。デザイン学部の学生が展示作品の研究・制作の意図を説明している様子をYouTubeでライブ配信し、自宅にいる保護者の方々や地域の方々にも視聴いただけるよう工夫しました。今回は、COVID-19への対策として、卒業研究の制作物がデジタルデータでの提出となったため展示作品数が減り、展示会の規模が通常の3分の1程度となりました。そこで、福田大年ゼミの3年生、江本千尋さん、長内絵美さん、越湖早希さん、小林臣絵さんの4名による「卒展の隙間をうめるグループ展」【埋め展】を同時開催してもらい、賑わいの演出にご協力いただきました。コロナ禍のイベント運営において、これまでにない新たな発想で工夫し、自発的に取り組んだことで、私たちデザイン学部の学生がこの苦しい局面を冷静に捉えつつ、前向きに楽しみながら企画立案・実施できる能力を身につけたと言えます。

デザイン学部・デザイン研究科 卒業修了記念事業実行委員長 高野 篤丸



「埋め展」準備中! オープニングセレモニー

キャリア支援イベント

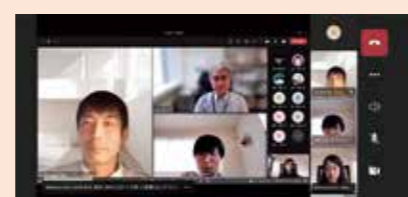
札幌市立大学デザイン学部では、卒業生をお招きしてOB・OGトークショー、スケッチ講習会、ワークショップ型インターンシップなどキャリア支援事業を行っています。2021年度は社会情勢に合わせてオンラインでの取り組みが中心となりましたが、対面でも実施しました。このほか、最新のサービスや製品に触れる機会として札幌市内で開催されたビジネスEXPO見学会も実施しました。また、本学の前身である札幌市立高等専門学校インダストリアル・デザイン学科の卒業生にもご協力いただき、OB・OGトークショーの講師を務めていただきました。卒業生は、日本各地のデザイン業界をはじめ様々な分野で活躍しており、デザイン学部の大切な財産となっています。

OB・OGトークショー

- 公立大学法人札幌市立大学 榎本 早希子さん ○お笑い芸人 YES!アキト 皆月 明人さん
- 江別 高屋書店兼イラストレーター 磯野 桂さん ○株式会社アドリエモリヒコ 炭谷 あゆみさん
- トロッコー 級建築士事務所 阿部 慎平さん、下山 千絵さん(札幌市立高等専門学校卒業)
- Fjord Tokyo 高橋 希政さん ○焼き菓子ガブリ 松崎 修さん、原井 咲絵さん



ワークショップ型インターンシップ



三菱電機株式会社様のご協力を得て開催されました。本学卒業生の吉田傑さんからサービスや製品のビジネス展開について指導してもらいました。

スケッチ講習会

クリナップ株式会社様のご協力を得て開催されました。本学卒業生の堀田路敏さんからスケッチの描き方を指導してもらいました。



ビジネスEXPO

北海道最大級のイベント「ビジネスEXPO」にて、会場見学ツアーを実施。学生向け講演もあり、様々な企業の貴重なお話を聞きました。



デザイン学部学生によるグループ展
「翻訳できない女たち」開催

日時 2021年12月16日(木)～12月20日(月) 場所 北工房さんまるさん

デザイン学部3年生7名によるグループ展が開催されました。出展したメンバーは、秋本真希さん、伊藤悠貴さん、江本千尋さん、木村綾乃さん、近藤花さん、長岡南風さん、渡邊麻央さんです。コロナ禍で制作活動が制限される中、感染対策をしっかりと取りながら、制作場所・時間を工夫して7人で作り上げた貴重な作品・空間でした。学生たちの陽気で元気な姿に励まされた方々も多かったことでしょう。



看護学部

看護学部学生自治会

新入生歓迎会やオープンキャンパス、卒業パーティー等記念事業などの学生生活に必要な事業を企画・運営している、生徒会のような組織です。高校生・在学生・教員などさまざまな人と関わる貴重な経験ができます。責任が大きい分、やりがいも大きいです!今年度は昨年度に引き続き、さまざまな行事が中止またはオンラインで行われたため、なかなか人との接点を持てませんでしたが、オンラインを活用して学生間交流会や新入生へのクラブ活動紹介などのサポートを行いました。

看護学部卒業研究発表会

2021年12月20日(月)、21日(火)に看護学部卒業研究発表会が開催されました。例年は桑園キャンパスの体育館で発表会を行っていますが、今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインで行われました。当日は4年生77名が各自で約1年間取り組んできた研究成果をオンラインで発表し、参加した学生間で活発な質疑応答が行われました。この発表会を無事に終え、看護師・保健師国家試験に向けて集中した学修を行っていくこととなります。



看護学部OSCE(オスキー)表彰式

看護学部では、「実践的に看護を学ぶ」ことを目標としてOSCE(オスキー/客観的臨床能力試験)に取り組んでいます。OSCEは年に1回、自主的に参加するものですが、在学中全ての年度で参加した学生に皆勤賞を設けています。今年度は2022年3月4日(金)に皆勤賞の表彰式が行われ、看護学部4年生の飯澤柚月さん・大城伊代さんを含む17名が受賞し、松浦看護学部長から表彰されました。受賞者には賞状が授与され、記念品として聴診器に付ける本学のシンボルマーク入りのチャームが贈呈されました。



看護学部・助産学専攻科
卒業前スキルアップトレーニング

看護学部では、就業に向けたスキルアップおよび看護実践能力向上を目的として、看護学部4年生および助産学専攻科生を対象に、臨床現場で実施することが多い看護技術をトレーニングする機会が設けられています。今年度は2022年3月1日(火)に開催され、4年生22名・助産学専攻科生2名が参加しました。例年は札幌市内の病院に就職した卒業生・修了生を招聘し、卒業・修了時に修得しておきたい看護技術を直接教わっていますが、今年度は昨年度に引き続き、本学教員による指導により行われました。この事業は札幌市立大学ならではの取り組みです。



「看護学部とデザイン学部とが連携しながら作り上げた課外活動の歴史」

看護学部とデザイン学部の学生が2006年4月から作り上げてきたSCUの歴史。授業や課外活動を通じて連携し、お互いを理解し、協力してきました。第1期生(2010年3月卒業)に大学設立当時の授業やYOSAKOIソーラン部の設立などについてインタビューしました。

この記事ヒントに在学生の皆さんも今できることを発見していただけたらと思います。

看護学部

YOSAKOIソーラン部「真花」初代部長
卒業生 秋山 裕希さん
看護学部 2010年3月卒業(第1期生)
現在はステップアップのため、転職活動中



YOSAKOIソーラン部の設立や活動について

入学前から1期生で入学するなら何か部を作りたいと考えていました。部設立の一番の理由は、同級生たちとの思い出を作りたいという想いがあったことでした。部活では、部長を務めましたが、副部長はじめ、同級生や後輩、メンバーに恵まれていました。大会前は毎日練習し、最盛期の部員数は約80名だったと思います。初出場で新人賞と奨励賞を受賞できたときに、本当にうれしかったことを覚えています。今でも興味があることは、まずはやってみようと思っています。

看護学部とデザイン学部の連携について

はじめは、芸術の森キャンパスに通うことや、デザイン学部の学生と意見が合うかなど不安がありました。学部連携演習の授業や部活動を通して関わっていく中、お互いが歩み寄り、各学部の長所を生かすような関わりができていくようになりました。看護の現場だけでは出会うことがなかったデザイン学部の学生と関わる機会があったよかったです。

在学生へのメッセージ

少しでもやってみようと思えば、その気持ちを大事にしてください。そして、迷っているなら友人や先生に相談してみてください。きっと同じように仲間を探している人が見つかります。私は学生時代に、大切な人たちと出会うことができたからこそ、夢中で何かに取り組めたと思います。何かに挑戦できたこと、一生懸命になれたことは、これからの人生の糧になります。札幌市立大学は頑張る学生を応援してくれる大学です。一歩踏み出すまでには勇気が必要かもしれませんが、踏み出してしまえば、あとは駆け抜けるのみです。貴重な学生生活を全力で楽しんでください!



上段右から3番目が秋山さん

デザイン学部

YOSAKOIソーラン部「真花」初代旗士
卒業生 砂田 圭介さん
メディアデザインコース 2010年3月卒業(第1期生)
クオン(株) メディア企画部プランナー



YOSAKOIソーラン部の設立や活動について

入学当初から看護学部のメンバーと交流があったこともあり、有難いことに声をかけていただきました。せっかくだから、思い出作りにやってみようという軽い動機だったのですが、熱中して取り組むことができました。当時、旗は一人体制だったので後輩達には旗振りが見えるか、みんなの演舞の邪魔になっていないかを細かく確認していました。会話を通じて、同じチームで演舞しているという自覚も芽生えていったと思います。4年生になって引退後もちょこちょこ練習を見に行くくらいに大好きなチームでした。

看護学部とデザイン学部の連携について

それぞれの学部で課題に対するアプローチが異なっていたため、認識のすり合わせを丁寧に行っていました。「なぜ、こう考えるのか」「どうして、そうするのが良いと感じたのか」という問いが、芯の通ったアウトプットを出すためには必要な過程だったと思います。

在学生へのメッセージ

大学設立当初から掲げられている「D×N」は「異分野連携により可能になる、人々の暮らしや社会に新たな価値を創造する活動を実践しています」という考え方に基づいています。元々異なる分野同士の連携には認識の違いやそこから生じる摩擦があるものです。異なるからこそ、相手を尊重し耳を傾けることが必要です。そこに挑戦するからこそ、新たな価値が創出されるのだと思います。何かを表現するときには、机上の空論でアイデアを却下するのではなく、実際に試してみる、経験してみることを恐れなくてください。行動に移すと見えてくる世界が必ずあります。もし、失敗することがあっても、その後大きな前進につながっていきます。



在学時の大学祭での様子

看護学部

卒業生 市戸 優人さん
看護学部 2014年3月卒業(第5期生)
札幌市立大学
看護学部 地域看護学領域 助教



どんな学生生活を送っていましたか?

学生時代は、学生の身分である学業に加えて、YOSAKOIソーラン部とバスケットボール部における活動やデザイン学部と連携した地域貢献活動への参加、喫茶店でのアルバイトなど、様々なことに取り組んでいました。とても忙しい毎日ではありましたが、多くの人に囲まれながら、充実した学生生活を送っていました。授業で印象に残っているのは、公衆衛生看護学臨地実習で取り組んだ地域アセスメントです。保健師が行う地域アセスメントの奥深さや面白みを感じたことを鮮明に覚えています。市立大学は白を基調とした明るいキャンパスで、親しみやすい先生も多く、心地よい学生生活を送ることができていました。

現在の仕事について

大学卒業後は、北海道立保健所で保健師として勤務し、難病や精神疾患などを有しながら地域で生活する住民への訪問・相談などの個別支援、難病保健活動や精神保健福祉活動、感染症対策などの事業運営などを行っていました。保健師時代は、担当地域に積極的に出向き、住民や関係機関の支援者との関わりを大事に活動しました。現在は、大学教員として保健師教育に携わりながら、保健師マインドを育む教育に励んでいます。また、保健師として保健活動を行う中で感じていた疑問や課題を昇華させた研究活動にも励んでおり、現在は中学生や高校生を対象とした思春期保健に関連した研究に取り組んでいます。

在学生へのメッセージ

大学生生活は、様々なことを経験し、学び、考えることができる、人生の中でとても貴重な期間だと思います。忙しい毎日ではありますが、学生時代だからこそ経験できることや挑戦できることがたくさんあります。成功も失敗も将来の皆さんにとって必ず役に立つ経験となるはずですよ。ここ数年で看護職が働く場は非常に多様化し、市立大学卒の先輩たちも資格を活かして様々なフィールドで活躍しています。皆さんには、大学生活を通して自分が目指したい将来のビジョンを描きながら、各々が目指す目標に向かって歩いてもらいたいと思います。



看護学部

卒業生 渋谷 慶太さん
看護学部 2013年3月卒業(第4期生)
(株)ジョン
代表取締役



どんな学生生活を送っていましたか?

学業はもちろん、アルバイトやYOSAKOIなどにも全力で取り組んでいました。忙しい日々の中で必死に単位を取ろうとしていたことが思い出されますが、看護学部以外の方との交流も大切だったと思っています。専門分野以外の講義はデザイン学部と一緒にすることが多かったのですが、看護師を目指さない方々と一緒に時間を過ごすのは貴重な時間でも楽しかったです。発想もクリエイティブな方が多かったのが今振り返ると看護学部以外の方と一緒に過ごす時間は大事だったと思っています。卒業後は、さまざまな考えの方とチームを組んで仕事をする機会も増えるので、考え方の幅を広げるための良い経験になりました。

現在の仕事について

看護師×男性というキャリアを進んでいく上で資格を活かして独立できることはあるのか、と考えた結果、訪問看護ステーションの経営をすることに至りました。主に、訪問看護ステーションの運営・訪問看護に関するコンサルティングを行っています。また、私は「医療者の選択肢と可能性を拡げる」を信条として掲げています。私自身が経験したことを皆さんに分かりやすく情報発信できるように、活動していきます。そして少しでも皆さんの人生の可能性と選択肢を拡げるきっかけになればうれしいです。

在学生へのメッセージ

楽しい事も辛い事もたくさんあると思います。どんな経験も将来必ず生きてきます。例えば、同じように辛い事で悩んでる人が今後現れれば、あなたが親身になって助けてあげられます。楽しい事も一緒に教えてあげるともっと喜ばれるでしょう。看護師になってからは看護の技術もそうですが、人を相手にしたサービスなので自分の今まで経験してきたことや考えを伝えながらケアすることも多いです。その自分の人生経験を交えたケアがあなたしかできない唯一無二のケアになります。ぜひ、どんな経験も自分の糧にして今後、数十年と使っていく看護師という資格を磨いてほしいです。



デザイン
学部

卒業生 田島 奈々さん

デザイン学部 人間情報デザインコース
2021年3月卒業(第12期生)
トヨタ自動車(株) クルマ開発センタービジョンデザイン部
インテリアデザイン室UXグループ



在学中に後輩に向けてキャリア支援講座を行った様子

どんな学生生活を送っていましたか?

大学のワークショップや講習、企業のインターンシップなど参加できるものなんでも参加していましたが、忙しくて楽しい日々を送っていました。その一方で、私生活で怠けてしまい落とした単位もありました…。色々な人に迷惑をかけたが、優しい先生方や友人に恵まれて本当に幸せで楽しい大学生活を送ることができました。

現在は、楽しい体験や世界観を色々な方法で表現できるデザイナーになりたいと思っています。知識や、技術力をつけて、私が考えた世界観が実現して、生活が楽しくなるような提案が一つでもできたら、と考えています。

現在の仕事について

主に自動車に関わるメーターやUIグラフィックを制作する部署で働いています。お客様に車の中でどのように楽しい体験をしてもらうか考えることがとても大切になります。最近は自動車だけではなく、まちづくりや体験のデザインもしています。Webのデザインから、ロゴマーク作成など本当に幅広い分野のデザインをすることができてとても充実した日々を送っています。思い通りにできないことや、今まで全くやったことのない分野にまで踏み込んで、戸惑いと失敗だらけで落ち込むこともあります。好奇心を忘れずに仕事に向き合っています。

在学生へのメッセージ

いろいろなことを体験して、作品をいろいろな人に見てもらう経験をしてほしいと思います。私自身、大学生の時にもっといろんな分野のデザインを経験して、学ぶ、作る、見せることのサイクルをたくさん経験しておけばよかったなと思っています。現在は、旅行など難しいと思いますが、展示やワークショップなど、自分が少しでも興味を持ったものをたくさん吸収して、それらを真似して作ってみるというのでもいいと思います。趣味で細々と作っていたものが強みになったりします。私もまだまだ勉強不足で技術不足です！一緒に頑張りましょう！



2021年度は在学生への進路に関する就職講話において、デザイン学部の前身である札幌市立高等専門学校の卒業生にもご協力いただきました。今回は、社会で活躍する方々をクローズアップする中で、本学卒業生と同様にデザインを学んだ札幌市立高等専門学校の卒業生にもインタビューしました。是非お読みください。

札幌市立
高等
専門学校

卒業生 太田原(岡本) 桃子さん

インダストリアル・デザイン科 視覚デザインコース
2005年3月卒業
トヨタ自動車(株) カラーマネジement室
レクサスカラーG マネージャー



レクサスのカラーデザイン中

現在の仕事について

クルマのCMF(Color Material Finishing)という業務は非常に多岐にわたります。車両の世界観の構築から、エクステリアの塗装色/インテリアの素材開発。モノづくりの現場から各素材サプライヤー様との連携まで、アートディレクターの様に全体を指揮し、その車の持つメッセージを伝わりやすく魅力的に仕立てていくのが、CMFデザイナーの腕の見せ所です。

また、欧州拠点で勤務した際に、短期間で新商品を打ち出していく日本型プロダクトに疑問を持つきっかけになりました。同時に、環境問題に対するActivistの存在が自分自身の意識を大きく変え、CMFで伝えたい体験価値は何なのか? 時間で色あせないこと、価値が下がらないこと…をより深く考えています。お客様に愛される、地球と社会の持続可能(Sustainable)なモノづくりへ、より真摯に向き合っていきたいです。

在学生へのメッセージ

働き方もここ数年で多様になり、地方や海外からの在宅勤務も可能になってきています。どこを基盤に働く場合でも、自分のやりたいことをかなえるための大きなプラットフォームと捉えて、自由に色々なことにチャレンジして欲しいと思います。



フランス勤務時代

どんな学生生活を送っていましたか?

学校が好きで平日も遅くまで友達とアトリエにいて、長期連休中もよく学校に行っていました。冬はカマクラづくり、夏は川辺で水遊び。アトリエでお好み焼きを作ったり…。過ごした時間の濃さもあり、各々生活スタイルは変わっても、学生時代の友人は今でも家族のような繋がりが残っています。

学生時代の私は社会の仕組みや適性も分からず、常に漠とした不安を持っているような心持ちでした。そんな時はぜひ周りに少しずつ、考えを箇条書きでも良いので話し始めてみてください。客観的にコメントをもらうことで、気付くこともあると思います。

札幌市立大学同窓会

保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

同窓会が発足して14年を迎えました。2019年12月に本会初となる同窓会パーティーを開催してから早くも2年が経過しました。この直後にCOVID-19が猛威を振るい、私たちの生活は一変しました。あの時のように、同窓生同士が再会して近況を報告し合ったり、定年退職された恩師の先生方とお話ができたりと、顔を見ながら対面で分かち合う喜びがあることを、今、再認識しています。

さて、今後の同窓会の活動を具体的に考えていくため、同窓生同士が自由に意見交換を行えるよう、最近では定期的なオンラインミーティングを開催するようになりました。これは私たち同窓会にとって大きな一歩になっています。なかなか会うことが難しい昨今ですが、忙しい同窓生同士がちょっとした時間を活用しながら将来の札幌市立大学同窓会をどうしていきたいか、少しずつではありますが、有志の同窓生が意見を述べ合う場面が増えています。私はこのことをとても嬉しく思っています。これから具体的な事業の検討を進めていく予定ですが、とにかくデザイン学部、看護学部のそれぞれのキャンパスで学んだ仲間が、時を超えて同窓会オンラインミーティングで再会することに、懐かしさと新鮮な感覚の両方を覚えます。ぜひこの活動を続けていきたいと願っています。

なお、同窓会は、卒業生のための組織ではありますが、今後も母校や後援会と連携しながら札幌市立大学の在学生のためになる取り組みを行っていきたくと考えています。在学生の皆さんも卒業後は同窓会事業にご参加いただくこととなりますので、是非ご協力をお願いします。

札幌市立大学同窓会長 矢久保 空遥



オンラインミーティングの様子

札幌市立
高等
専門学校

卒業生 新川 めぐみさん

インダストリアル・デザイン科 工芸コース(専攻科)
2010年3月修了
トヨタ自動車(株) デザイン統括部
外形モデルクリエイト課 外形モデラー(一般)



現在の仕事について

デザイナーのスケッチをもとにインダストリアルクレイ(工業用粘土)を使用して1/1のクレイモデルを製作しています。設計要件などを織り込みながらイメージをモデル上で造り込んでいき、最終的には塗装をして審査をします。誤差0.3mm以内で管理しているので塗装されたモデルは実車より綺麗です。自分が担当したモデルを街中などで見掛けるとやりがいを感じます。

仕事ではプロジェクトリーダーの経験を何度か積んで、いずれは海外拠点での業務を希望しています。プライベートでは、学生時代と比べて休日はしっかり休めて時間がたくさんあるので体が動かなくなるまで遊び倒すのが目標です。キャンプや旅行、海外旅行は年2回ほど行っていました。やりたいことも行きたい国もまだまだたくさんあります。

在学生へのメッセージ

今は仕事の働き方やアプローチの仕方が多様化していて、社会に出たときにどこで自分のアイデンティティを見出せるのか、判断にすぐ労力を使うと思います。その判断材料を増やすためにも、今やりたいことを全力でやってみて楽しくてください。それから勉強もして損はないと思います。学んでも意味がないと思っていた数学や物理が意外と仕事で役に立つときがありました。

どんな学生生活を送っていましたか?

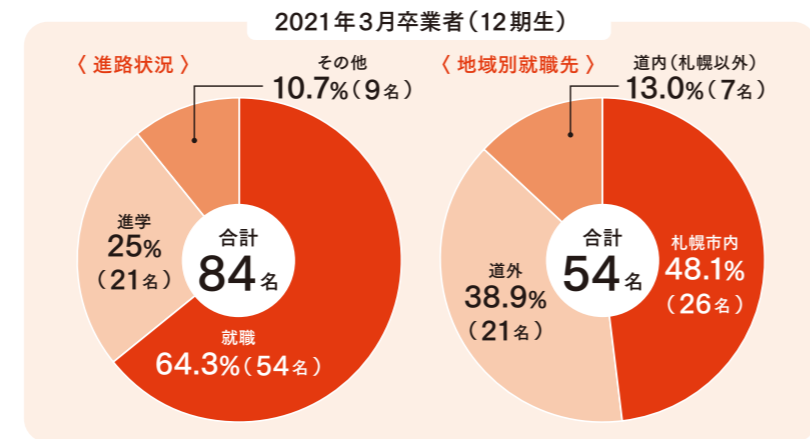
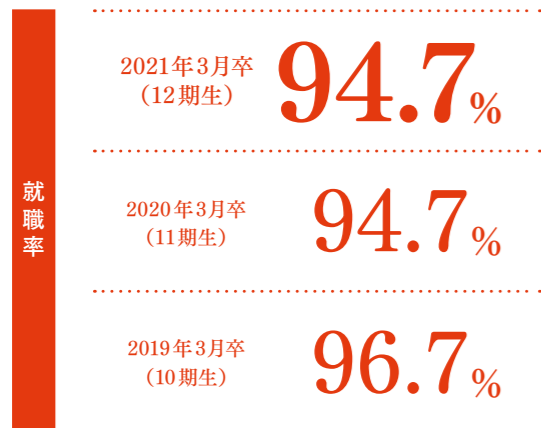
朝4~7時までアルバイト、学校で授業を終えたら最終バスが来るまで課題で土や鉄粉まみれになり、帰ったら寝るまで勉強という今思い返すと大変な生活を送っていました。趣味といえばバンドと音響PAをしていましたが、課題制作しているときが一番生きている感じがしました。

とにかくモデラーになりたかったため、就職活動はほとんどの自動車メーカーを受けました。当時はリーマンショック直後で採用中止が相次ぎ、絶望感もありましたが、なんとか夢だったモデラーになることができました。

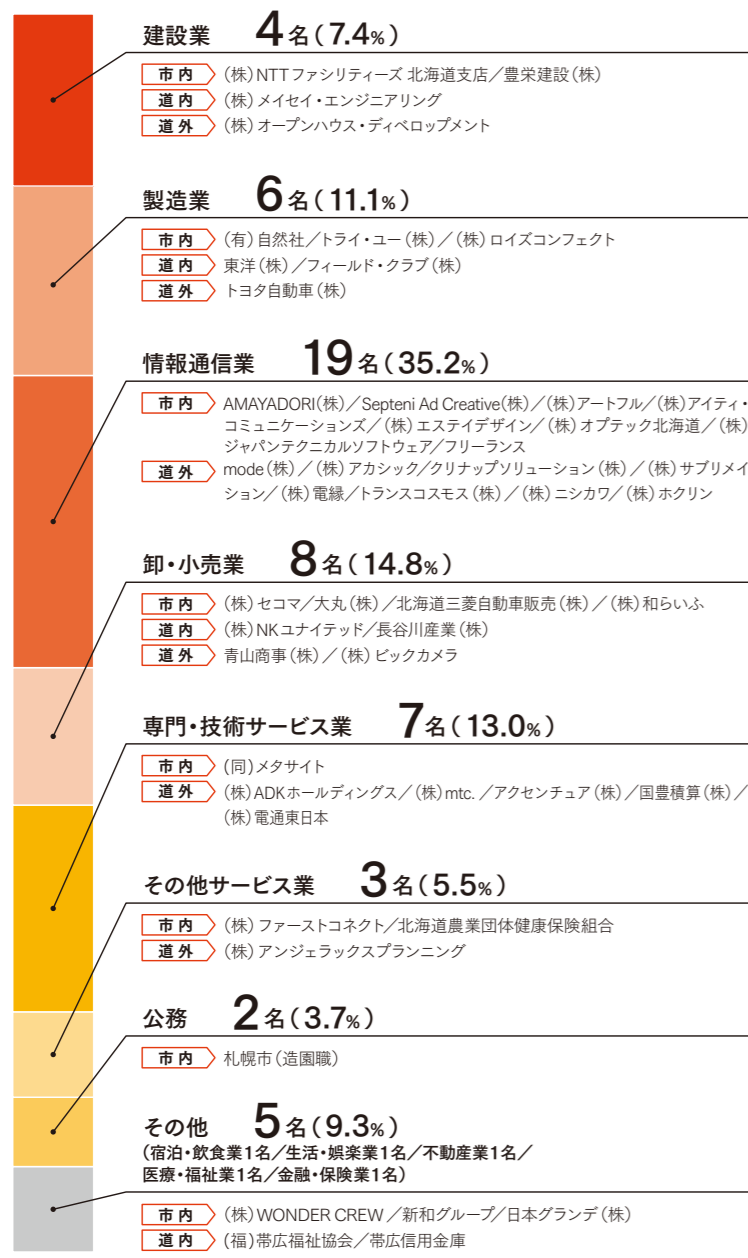


RAV4整形中

デザイン学部の就職状況



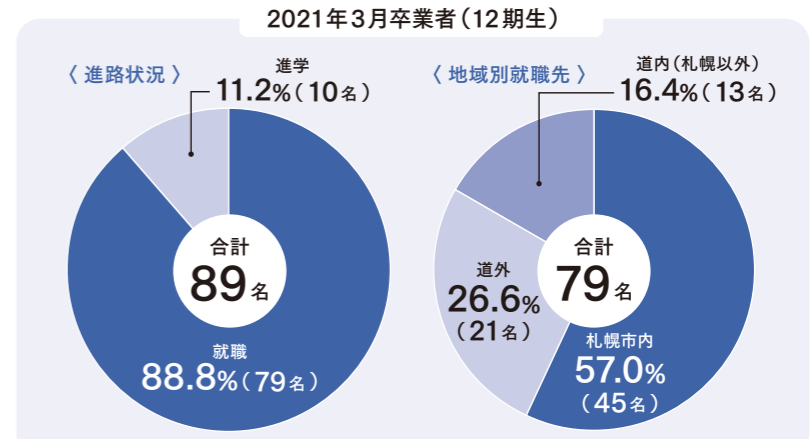
業界別就職状況と主な就職先(2021年3月卒業者)



これまでの就職・進学実績



看護学部の就職状況



※就職率は、卒業生のうち国家試験不合格者、就職意思のない者を除いて求めています。

これまでの就職・進学実績

- 就職実績の一例** 市立札幌病院、手稲漢仁会病院、JR札幌病院、KKR札幌医療センター、NTT東日本札幌病院、札幌医科大学附属病院、札幌厚生病院、札幌北極病院、天使病院、北海道大学病院、北海道がんセンター、JCHO北海道病院、札幌頓心会病院、札幌漢仁会リハビリテーション病院、杏林大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、千葉大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大森病院
- 進学実績の一例** 札幌市立大学助産学専攻科、札幌市立大学大学院看護学研究科、札幌医科大学助産学専攻科、北海道立旭川高等看護学院助産学科

札幌市立大学後援会 事業概要について

札幌市立大学後援会は、2007年2月に発足しました。後援会は、学生の充実したキャンパスライフのサポートを目的に、大学での予算化が難しい資格取得・就職活動支援、クラブ活動・大学祭運営・地域活動等への支援を行っています。

主な事業	主な内訳	対象
1. 事業費 925.0万円	1-1 学生活動支援 275万円	
	・大学祭 (150万円 各キャンパスに75万円)	1~4年次生、助産学専攻科
	・課外活動 (100万円 部・サークルへの支援)	1~4年次生、助産学専攻科
	・その他(地域活動) (25万円 南区芸術の森地区雪あかりの祭典)	1~4年次生
	1-2 福利厚生 20万円(新入生研修会、メンター教員との茶話会)	1年次生
	1-3 学部支援 400万円	
	① デザイン学部 200万円	
	・大学図書購入費 (50万円)	1~4年次生
	・資格取得支援(TOEIC受験料半額補助) (約20万円)	1年次生
	・就職活動支援等 (約130万円)	主に3年次生
	※模擬面接、履歴書添削、SPI模擬試験、履歴書証明写真撮影補助、就職講話	
	② 看護学部 200万円	
・大学図書購入費 (50万円)	1~4年次生、助産学専攻科	
・資格取得支援(TOEIC受験料半額補助) (約20万円)	1年次生	
・国家試験対策 (約70万円)	3・4年次生、助産学専攻科	
※看護師、保健師、助産師の国家模擬試験補助		
・B型肝炎ワクチン接種補助 (約50万円)	1年次生、助産学専攻科	
・学生活動支援費等 (約10万円)	1~4年次生、助産学専攻科	
1-4 卒業記念事業 110万円(記念品)	4年次生、助産学専攻科	
1-5 広報(会報の発行、ホームページの更新) 60万円	1~4年次生、助産学専攻科	
1-6 緊急対策費 60万円	1~4年次生、助産学専攻科	
2. 事務費 3.0万円 (会議開催費用、郵送料、振込手数料等)		
3. 予備費 25.6万円		

予算(参考:2021年度)